

花1600鉢を被災地に

東京砧花きの女性オーナーと山下ようこ都議



花を手に心を通わす山下都議(右から4人目)と女性オーナー(左)

山下ようこ都議と「東京砧花き」の女性オーナーが11、12日、東日本大震災の被災地に花と観葉植物1600鉢を届け、避難所のみなさんを励ました。女性オーナーが全鉢を提供し、山下都議が被災地と橋渡しした。

女性オーナーが「花と緑」の緑化に取り組んでいる同都議に「被災地に花を届けたい」とメールで問い合わせたことで実現。山下都議が東北の知人と相談。届け先を宮城

県仙台市の長町仮設住宅、気仙沼市の市民会館、松岩公民館、小泉中学校など6カ所に決めた。

避難所では女性や子どもたちの手でアジサイ、ヒマワリ、カラなどの花が飾られ、花を囲んで温かい笑顔が広がった。小泉中学校に避難している女性は「仮設住宅に移るときに持って行きたい。花は心が和みます」と喜んだ。観葉植物を受け取った人は「粉塵被害がすごいのので植物が空気をきれいにしてくれるので」と話した。山下都議は「花を手にし、心の底から喜んでくれるみなさんの笑顔がたまらなくうれしかった。少しでも力になれて本当に良かった」と語った。(吉田)